

コスト研が機関誌で発信した海外の建設事情に関する主な記事－タイトル一覧－

(2017年7月現在)

(注) 論文著者の所属機関名は執筆当時。

			No.	年・号
[連載]	海外積算事情調査報告 [1]	建築積算事情調査団	1	1993春
	海外積算事情調査報告 [2]	建築積算事情調査団	2	1993夏
	海外積算事情調査報告 [3] ドイツ	建築積算事情調査団	3	1993秋
	海外積算事情調査報告 [4] オランダ	建築積算事情調査団	4	1994冬
	海外積算事情調査報告 [5] フランス	建築積算事情調査団	5	1994春
	海外積算事情調査報告 [最終回] アメリカ	建築積算事情調査団	6	1994夏
[連載]	公共建築工事積算体系再構築の必要性 [4] 官民合同による欧米の公共建築積算調査	高仲建男 (建築懇談会連絡会議日建連委員)	5	1994春
	公共建築工事積算体系再構築の必要性 [5] 官民合同による欧米の公共建築積算調査	高仲建男 (建築懇談会連絡会議日建連委員)	6	1994夏
[連載]	設計とコスト [2] 設計コストの乖離の実情	岩松準 (佐藤総合研究所)	43	2003秋
	設計とコスト [3] 設計段階のコストマネジメント	遠藤和義 (工学院大学)	44	2004冬
	設計とコスト [5] 設計変更とクレーム管理	秋山哲一 (東洋大学)	48	2005冬
[連載]	建築コストをめぐる話題 [04] コストをめぐる公正と効率	江口禎 (東京都市大学)	69	2010春
	建築コストをめぐる話題 [10] 「建築工事費」に関して、いくつかのあいまいなこと	古阪秀三 (京都大学)	79	2012秋
	建築コストをめぐる話題 [12] 建設業の海外進出における品質とコスト	古阪秀三 (京都大学)	83	2013秋
	建築コストをめぐる話題 [13] 買手市場で変貌するデザインビルド	安藤正雄 (千葉大学大学院)	84	2014冬
	建築コストをめぐる話題 [16] 生産性向上を目指すシンガポール・建設産業界との交流	古阪秀三 (京都大学)	87	2014秋
	建築コストをめぐる話題 [17] 市場変化と日本型建築生産システムの進化	安藤正雄 (千葉大学)	88	2015冬
	建築コストをめぐる話題 [22] 日系GCのグローバル化の行方を考える	安藤正雄 (千葉大学)	96	2017冬
[連載]	ミュンヘンだより (1) 秋冬編	遠藤和義 (工学院大学)	81	2013春
	ミュンヘンだより (2) 冬春編	遠藤和義 (工学院大学)	82	2013夏
	ミュンヘンだより (3) 春夏編	遠藤和義 (工学院大学)	83	2013秋
	ミュンヘンだより (4) 夏秋編 (最終回)	遠藤和義 (工学院大学)	84	2014冬
[特集]	アジア諸国における建築積算の動向「アジアの積算職能 PAQS の経緯と動向を踏まえて」	木本健二 (芝浦工業大学)	78	2012夏
	アジア諸国における建築積算の動向「アジアの建築積算事情」	佐藤隆良 (サトウファシリティーズコンサルタンツ)	78	2012夏
	アジア諸国における建築積算の動向「中国・韓国・台湾の建築積算事情」	橋本真一 (建設物価調査会)	78	2012夏
	アジア諸国における建築積算の動向「わが国建設業の海外動向」	中山隆 (海外建設業協会)	78	2012夏
[特集]	BIMの現状と今後の展望「海外諸国におけるBIMの取組み」	山下純一 (IAI日本)	82	2013夏
[特集]	建設業の技能伝承と人材育成:外国人労働者の受け入れと技能伝承・人材育成の課題 －建設業における技能実習制度の背景・現在・未来－	恵羅さとみ (一橋大学)	91	2015秋
[特集]	コンサルタントとしての積算－英国QSに見る生き残り戦略－	佐藤隆良 (サトウファシリティーズコンサルタンツ)	98	2017夏
[連載]	建築コスト遊学 [07] コストプランニングのための部分別数量書式	岩松準 (コスト研)	67	2009秋
	建築コスト遊学 [08] 米国の公共調達における「フェアでリーズナブルな価格」をめぐる	岩松準 (コスト研)	68	2010冬

	建築コスト遊学 [09] 日米構造問題協議と建設内外価格差問題	岩松準 (コスト研)	69	2010春
	建築コスト遊学 [13] WLC (Whole Life Costing) をめぐる日英の違い	岩松準 (コスト研)	73	2011春
	建築コスト遊学 [14] スポンによる建築費の国際比較・その後	岩松準 (コスト研)	75	2011秋
	建築コスト遊学 [15] コストプランニングの起源	岩松準 (コスト研)	76	2012冬
	建築コスト遊学 [16] 建設費の国際比較の方法	岩松準 (コスト研)	77	2012春
	建築コスト遊学 [22] 国の契約情報の公開～随意契約規定や英米両国との比較	岩松準 (コスト研)	84	2014冬
	建築コスト遊学 [28] 世界文化遺産ベルリンの近代集合住宅群、都市模型等の視察報告	岩松準 (コスト研)	92	2016冬
	建築コスト遊学 [31] GSAの新しいコスト・マネジメントの文書について	岩松準 (コスト研)	96	2017冬
	建築コスト遊学 [32] 建築コード標準化の経緯と建築コスト	岩松準 (コスト研)	97	2017春
	建築コスト遊学 [33] 英国系の積算職能の歴史について (上)	岩松準 (コスト研)	98	2017夏
[論壇]	欧米の建築プロフェッションと環境の変化	橋本喬行 (日建設計)	3	1993秋
[座談会]	ヨーロッパにおける建築工事の動向について 出席者：春田浩司 (建設省)、上野孝 (鹿島建設)、田中昌二 (大成建設)、岩崎武俊 (フジタ)、石原丈吉 (大林組)、清水令一郎 (浩洋設計)		3	1993秋
[寄稿]	欧州の建設事情調査	片渕利幸 (建設省)	4	1994冬
	米国の建設事情 [1]	佐伯晃 (大林組)	6	1994夏
	米国の建設事情 [2]	佐伯晃 (大林組)	7	1994秋
	オーストラリアの建設事情・見聞	島田良一 (東京都立大学)	8	1995冬
	台湾における建設プロジェクトのVE	上野孝 (鹿島建設)	8	1995冬
	EU共通市場の進展と建築関連の動向	平野吉信 (建設省)	9	1995春
	欧州の建設資材 (建築) に関する調査報告概要	瀧上峰明 (建設省)	19	1997秋
	米国における建築に現れた新しい動き	木内孝 (NPO法人フューチャー 500)	39	2002秋
	アメリカ合衆国における建築市場の動向について	宮内徹 (コスト研)	44	2004冬
[講演]	欧米における公共建築のコスト管理事情 (1)	佐藤隆良 (サトウファシリティーズコンサルタンツ)	45	2004春
	欧米における公共建築のコスト管理事情 (2)	佐藤隆良 (サトウファシリティーズコンサルタンツ)	46	2004夏
[講演]	日本の建設市場の国際化に向けて (講演要旨) 外国から見た日本市場	ジョン・ディキソン (シャル・ボヴィス・インク)	7	1994秋
	日本の建設市場の国際化に向けて (質問回答)	ジョン・ディキソン (シャル・ボヴィス・インク)	8	1995冬
[座談会]	新春に語る 今後の入札・契約制度の展開、内外価格差問題、数量公開制度等について 出席者：照井進一 (建設省)、青柳幸人 (住宅・都市整備公団)、古川修・坂元茂 (コスト研)		8	1995冬
[論壇]	情報化社会の日米格差は？	橋本喬行 (日建設計)	7	1994秋
	建設工事の国際化とその地域性	島田良一 (東京都立大学)	19	1997秋
	建設関連サービスの国際化と教育・資格制度	島田良一 (東京都立大学)	20	1998冬
	国際調達の中の公共調達	村尾成文 (日本建築家協会)	38	2002夏
[寄稿]	スポンによる建築費の国際比較	古川修 (コスト研)	3	1993秋
	内外価格差はなくなったか？	古川修 (コスト研)	23	1998秋
	内外価格差調査結果の概要報告	佐々木良夫 (建設省)	8	1995冬
	建設コスト内外価格差フォローアップ調査について (建築工事編)	辻川孝夫 (建設省)	26	1999夏
	建設コストの内外価格差フォローアップ調査について (建築工事編)	宮内徹 (コスト研)	48	2005冬
	建築分野における購買力平価と内外価格差－コスト刊行物による住宅工事費の日米比較－	岩松準 (佐藤総合研究所)	10	1995夏
	建築コスト刊行物を利用した内外価格差調査について (その1)	岩松準 (佐藤総合研究所)、羽山眞一 (コスト研)	39	2002秋
	建築コスト刊行物を利用した内外価格差調査について (その2)	岩松準 (佐藤総合研究所)、羽山眞一 (コスト研)	40	2003冬
[講演]	[公共建築の日・コスト研記念講演会] その2内外コスト事情を考える	小林康昭 (足利工業大学大学院)	60	2008冬
	[公共建築の日 コスト研記念講演会] 英米等における発注方式の動向～ハイブリッド方式の発展～	平野吉信 (広島大学)	84	2014冬

[座談会]	建築コスト管理の在り方について 出席者：照井進一（建設省）、楠山登喜雄（フタバエンジニアリング）、清水令一郎（佐藤工業）、古川修・坂元茂（コスト研）	12	1996冬
	コストに関する現状と課題 出席者：田村至敏（建設省）、清水令一郎（佐藤工業）、古川修・坂元茂（コスト研）	16	1997冬
[寄稿]	海外資材活用の現状と今後 村井淳（経済調査会）	6	1994夏
	GSAにおけるVE [1] 清水令一郎（コスト研）	6	1994夏
	GSAにおけるVE [2] 清水令一郎（コスト研）	7	1994秋
	MEANS社の「BUILDING CONSTRUCTION COST DATA」 1994年版の紹介 清水令一郎（コスト研）	7	1994秋
	MEANS社の「SQUARE FOOT COSTS」と「ASSEMBLIES COST DATA」の紹介 清水令一郎（コスト研）	8	1995冬
	コスト研活動状況 報告書の紹介「建設工事の国際化に伴う契約 コスト研 関連図書のある方」	7	1994秋
	[本の紹介] 白川一郎著「内外価格差」（中公新書） 功力晃（経済調査会）	9	1995春
	日本の建設市場はポーランドのお手本？ 磯部正（建設省）	10	1995夏
	海外の住宅生産システム導入方策の研究 田邊誠二郎（コスト研）	10	1995夏
	建築生産方式の歴史の変遷と多様化 [1] 橋本喬行（日建設計）	11	1995秋
	建築生産方式の歴史の変遷と多様化 [2] 橋本喬行（日建設計）	12	1996冬
	建築生産方式の歴史の変遷と多様化 [3] 橋本喬行（日建設計）	13	1996春
	建設海外情報シリーズ [最終回] 建築プロフェッション像の変化 橋本喬行（日建設計）	14	1996夏
	-設計と施工の対立関係の崩壊-		
	米国の公共事業および政府調達に関する情報化の現状（CALS米 国調査に参加して） 秋葉善美（建設省）	13	1996春
	アジアコンストラクト会議について 鈴木一（建設経済研究所）	13	1996春
	公共工事におけるデザインビルドに関する欧米・アジアの動向と 我が国の課題 鈴木一（建設経済研究所）	14	1996夏
	海外資材活用住宅の実施例からみた考察 伊藤駿（坂田建設）	14	1996夏
	公共工事における最適な入札・契約方式選択の考え方 [1] 佐藤隆良 (サトウファシリティーズコンサルタンツ)	14	1996夏
	公共工事における最適な入札・契約方式選択の考え方 [2] 佐藤隆良 (サトウファシリティーズコンサルタンツ)	15	1996秋
	PFIの概要 小沢道一（建設経済研究所）	20	1998冬
	米国における公共建築工事のコスト管理とデザインビルド方式等 に関する調査概要 遠藤淳一（建設省）	21	1998春
	ロンドンPFIレポート 照井進一（三菱信託銀行）	23	1998秋
	欧州各国における設計・監理の瑕疵責任の調査 奥田修一（建設省）	24	1999冬
	英国におけるPFIの現状 光井裕二（建設省建築研究所）	28	2000冬
	積算単価に関する考察 [14] 米国ミーンズ社のコスト情報システム 江口禎（武蔵工業大学）	33	2001春
	建築設計VEの国際的動向について SAVE International 第41 回年次大会に参加して 遠藤和義（工学院大学）	35	2001秋
	環境会計に関する国内外の動向 小林俊（環境省）	35	2001秋
	英国の「建設省へのKPIレポート」の紹介 長谷川正（コスト研）	40	2003冬
	ユニットプライス型積算方式の概要-米国カリフォルニア州交通 局におけるユニットプライス型積算方式を中心に- 溝口宏樹（国土交通省）、浅倉晃（国 土交通省）	41	2003春
	大成建設における海外調達 河野久米彦（大成建設）	41	2003春
	竹中工務店の海外調達の取組み -コスト縮減の現状と展望- 梅津利治（竹中工務店）	41	2003春
	2005年日本国際博覧会日本政府館の環境に配慮した建設について 佐藤二紀（国土交通省中部地方整備局）	44	2004冬
	グリーン調達等に係る新技術及びその評価手法等の欧州調査報告 南島雄二（コスト研）	47	2004秋
	「アメリカにおける建築物の省資源、省エネルギー対策（ESCO 事業等）に関する取組み」についての調査報告 平善之（コスト研）	48	2005冬
	欧州における施工単価方式等の実態調査報告 羽山真一（国土交通省）	50	2005夏
	米国における施工単価方式等の実態調査概要報告 山本徹（国土交通省）	53	2006春
	BIMを実現する標準データモデルIFCおよびその国際的な活用動向 足達嘉信（セコム）	65	2009春
	海外の建設関連統計 岩松準（コスト研）	73	2011春
	[行政情報] 米国連邦調達庁におけるBIMの「I」の活用手法 大槻泰士（内閣府）	79	2012秋
	英国RICSのNRM1 翻訳から見えてきたもの 吉田藤子（コスト研）	80	2013冬